

令和7年 春季号


 仙台市

農業委員会だより

The Newsletter of the Agricultural Committee

編集・発行／仙台市農業委員会

仙台市青葉区国分町三丁目7番1号

電話 022(214)4308(直通)

FAX 022(215)5803

発行日／令和7年5月1日


[仙台市農業委員会](#)

クリック

検索

または



で検索



▲宇都宮市農業委員会



▲郡山市農業委員会 (仙台市農業委員会 会長挨拶)



▲福島県農業総合センター



▲農産直売所あぜみち

農業委員の視察研修会を実施しました

令和7年1月14日(火)・15日(水)に、農業委員、農地利用最適化推進委員等19名が参加し、栃木県宇都宮市農業委員会、福島県郡山市農業委員会および農業関連施設の視察を行いました。

宇都宮市農業委員会では、貸付を希望する農地の貸付条件等の情報を「宇都宮市まちかど情報マップ」として市ホームページで公表し、農地のマッチングの促進を行っています。また、新規就農対策にも熱心で、短期的な農業体験の希望者を受け入れる「農業インターンシップ事業」、就農を希望する研修生を育成・確保・定着させる「認定就農研修制度in先進農家」を実施。3年間で25経営体が参入し、現在も営農を継続しているなど、本農業委員会も非常に参考となる取組みを教えていただきました。

宇都宮市の「農産直売所あぜみち」では、自便のトラックで農家まで集荷に行き、販売、売れ残った農産物は総菜へ利活用し廃棄率を削減。また、社内デザイナーが農家からの商品POPやパッケージデザインの相談にも乗っていて、農家に寄り添った運営に感心しました。

その他、郡山市農業委員会ではタブレット端末を活用した農業委員会活動のお話を伺い、福島県農業総合センターの施設見学を行いました。委員同士の交流を深めつつ、他県の先進的な取り組みを知ることで、今後の委員活動に生かせる有意義な研修になりました。

令和7年度仙台市農業委員会業務計画

I 業務方針

我が国の農業・農村は、農業者の高齢化・担い手不足、遊休農地の発生や鳥獣被害の拡大など、依然として厳しい状況が続いています。また、不安定な国際情勢により農業用資材、飼料、燃油等の価格高騰が継続しており、農業経営に大きな影響を及ぼし、農業所得が減少するなど大きな打撃を受けています。

加えて、近年、異常気象に伴う豪雨や暖冬等の大規模自然災害が頻発し、農業生産活動に大きな影響を与えており、農業者自らも自然災害や気候変動に備えていく必要があります。

令和6年5月には、国の食料・農業・農村基本法が改正され、「食料安全保障の確保」が基本理念として位置づけられましたが、一方では、米の需要と供給のバランスが崩れ、混乱が生じているため、食料の合理的な価格形成の仕組みの構築など、今後、各種施策の検討と具体化が期待されています。

このような中、今まで以上に本市農業の健全な発展に寄与するためには、農業委員と農地利用最適化推進委員が両輪となり、農地利用の最適化を確実に推進することがますます重要となっています。その役割と責任を十分に果たすよう、農地法の許可審査をはじめ、農業者と連携を図りながら、「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」を基に、実効性のある地域活動を推進するものです。具体的には、第一に「担

い手への農地利用の集積・集約化」、第二に「遊休農地の発生防止・解消」、第三に「新規参入の促進」の3つの目標を同指針に掲げ、宮城県農地中間管理機構やJA仙台と連携して、担い手となる認定農業者や生産組織等を育成し、農地の利用集積・集約化を進めるとともに、農地パトロールによる遊休農地の調査と指導・違反転用農地の是正指導、更には農外からの新規就農の促進などを行い、地域農業の持続的な発展に資するよう取り組んでいきます。

また、農業者が農業所得の安定・向上に取り組めるよう支援するとともに、令和6年度末に策定された「地域計画」の目標達成に向けて役割を果たしていきます。

本農業委員会では、令和7年度業務計画の着実な取り組みとその成果を上げるため、農業委員及び農地利用最適化推進委員が一致団結し、業務を遂行していきます。

II 活動計画（抜粋）

1 農地行政活動

- ・農地法及びその他の法令によりその権限に属する事項の審議
- ・「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」の実行

2 農業振興活動

- ・地域振興活動の推進



地域計画が策定されました

令和7年3月に「地域農業をどのように維持・発展させていくか」「地域の農地を誰が利用し、農地をどう集積・集約していくか」などについて定めた地域計画が、仙台市において策定されました。

地域計画の区域内の農地を転用する場合には、地域計画からの除外が必要となり、通常より許可まで時間を要する場合があります。詳しくは仙台市のホームページをご覧ください。



地域計画

問い合わせ先

地域計画について〔農業振興課担い手支援係〕電話 214-7327
農地転用について〔農業委員会事務局農地係〕電話 214-4340

農地法第3条の許可実績

令和6年11月から令和7年2月までの農地法第3条(売買・賃借等)の許可実績です。

区	11月		12月		1月		2月		計	
	件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)
青葉	0	0	1	3,027	0	0	2	15,952	3	18,979
宮城野	1	2,025	4	10,031	0	0	0	0	5	12,056
若林	3	6,922	1	460	1	261	2	11,058	7	18,701
太白	5	23,872	2	5,630	1	1,239	0	0	8	30,741
泉	2	2,173	1	2,774	0	0	2	12,376	5	17,323
計	11	34,992	9	21,922	2	1,500	6	39,386	28	97,800

仙台市

農業まめ知識②/全⑧

【市内の農家戸数と経営体数】

	2010年	2020年	比較
農家戸数	4,050	2,521	38%減
経営体数	3,110	1,641	47%減
10ha以上経営	49	72	47%増

農家戸数は年々減少しています。10ha以上の大規模農業経営体数は増加しています。

売渡 あっせん 希望農地 一覧

農業振興地域の農用地域内において、農地の経営規模の拡大、集団化等農地保有の合理化を図るため、「農地の移動適正化あっせん事業」を行っています。あっせん事業による農地の買受申出ができる方は、「認定農業者・認定新規就農者」または「仙台市内の農地を130アール以上耕作している方」です。

令和7年4月1日現在

区	所 在 地		地目	面積 (㎡)	希望価格 (万円/10a)	区	所 在 地		地目	面積 (㎡)	希望価格 (万円/10a)	区	所 在 地		地目	面積 (㎡)	希望価格 (万円/10a)			
	大 字	小 字					大 字	小 字					大 字	小 字						
青葉区	芋沢	青野木	田	2,249	50	宮城野区	蒲生	東通	田	3,117	200	若林区	沖野	高野南	田	3,132	1000			
	大倉	西田	田	866	100				田	2,767	200			館東	田	2,070	150			
	上愛子	岩元前	田	2,050	100			元切	田	1,951	200			三本塚	田	4,115	100			
		麓道上	田	23	100			細川	田	1,198	70			境堀	田	18,293	200			
宮城野区	岩切	昭和西	田	2,061	400			小鶴	新境	田	1,441		250			畑	1,614	100		
			田	1,695	400			鶴ヶ谷	大谷	田	1,505		150		下飯田	田	2,060	100		
		昭和南	田	2,062	400				金堀	田	712		150			田	5,155	120		
			畑	505	300		若林区	荒井	堀場	田	3,701		500			田	3,900	200		
		大正	田	1,100	400					梅ノ木	田		1,050	240			畑	285	100	
		高江	田	3,050	350					神屋敷西	田		1,334	150			田	1,726	100	
		中土手	田	1,525	300					川田	田		1,176	400		種次	寺西	田	1,340	100
	岡田	岡田中	田	2,664	300					川戸東	田		1,424	250			田	450	100	
		岡田東	田	2,691	200				切新田	田	2,863	150			中斎	畑	411	100		
			田	4,583	150				境東	田	2,227	750			田	2,030	200			
		岡田前	田	2,631	200				瀬戸川北	田	459	120		藤塚	一本松	畑	3,335	80		
		岡田南	田	3,441	350					田	489	120			三十刈	畑	95	100		
			田	3,712	350					田	3,695	150			沼田	田	980	200		
			田	4,767	250				藤田	田	3,056	250			田	1,736	300			
				田	2,966	300				藤田西	田	1,399	240			田	900	80		
	宮城野区		新浜浦通西	畑	694	290			藤田東	田	6,248	130		太白区		田	4,650	300		
				畑	545	150				田	2,966	300				田	6,200	80		
				田	1,421	200			藤田西	田	1,399	240				田	900	80		
			新浜浦通東	田	2,837	280			藤田東	田	6,248	130				田	4,650	300		
			新浜中通	田	1,853	160			前谷地	田	3,555	100				四郎丸	昭和南	田	1,997	105
		田	1,713	150			矢取東	田	2,560	300			柳生		前原西	田	8,366	130		
		新浜西通	田	171	300			四ツ谷南	田	1,747	120				秋保町長袋	野中	田	4,761	100	
		田	2,604	200				田	800	120			小角		上原	田	1,359	150		
新浜東通		田	2,146	150		宮城野区	荒浜	石場	田	1,440	300			堤下	田	2,746	150			
		田	1,624	200				石場前	田	3,456	800			上谷刈	長命	田	3,804	500		
		田	2,971	150				大堀	田	2,864	200			実沢	中	田	2,783	200		
		堀切南	田	4,069	180				五枚下り	田	2,473	250		泉区	根白石	杉下後	田	1,991	100	
田		2,366	150				南長沼	田	3,251	230			八千代		田	3,326	100			
田		3,059	300				田	1,670	100			泉	泉		田	5,924	300			
		田	3,043	70				山路裏	田	640	100				柏坊前	田	4,513	80		
		田	1,183	85			井土	南浦	田	830	100				城ノ内	田	3,031	100		
	田	1,793	190					田	1,130	100			松森		陣ヶ前	田	4,935	250		
蒲生	中通	田	3,059	300			沖野	北門	田	3,059	150					田	2,996	90		

売渡あっせん希望農地（上表）について買受希望がありましたらお問い合わせください。ホームページでもご覧いただけます。

問い合わせ先 【事務課農地係】 電話 214-4340

農地移動適正化あっせん事業 仙台市

総会等でタブレット活用を始めました

仙台市農業委員会では、農業委員に業務専用のタブレット端末を貸与し、活用を開始しました。昨年から使用方法の研修、テスト運用を行い、本年1月から本格的にタブレットでの総会資料の閲覧を始めました。会議の開催通知や研修会のお知らせなども、タブレット端末にメールで送信しています。

7月には、農地利用最適化推進委員にもタブレット端末を貸与し、農地パトロール等にも活用していく予定です。



地域振興委員会を開催しました

令和7年1月20日(月)・28日(火)の両日に地域振興委員会を開催しました。

今回は「魅力ある農業」と「有害鳥獣対策」の二つのテーマで意見交換を行いました。

特に有害鳥獣対策では、イノシシ対策用の電気柵やメッシュ柵の更新や補強への補助の要望が出されました。

この委員会は、共通の課題について話し合えるよう、市内13の地区を「南部」「西部」「東部」の3つのブロックに分け、農業委員・農地利用最適化推進委員のほか、地域の農業者やJA職員にも参加いただき、地域ごとに抱える課題の把握や解決方法について、意見交換を行うもので、年2回開催していきます。



あなたの出番です

泉区上谷刈にお住まいの

わ こう しゅん すけ

若生 俊輔 さん

にお話を伺いました。

Q 就農のきっかけは？

A 6年前まで県外で会社員をしていましたが、実家が代々農業をしており、地元でおいしい野菜を作ろうと思い就農しました。

Q 何を作っていますか？

A 野菜は年間約20種類ほど作っており、グリーンカールやサニーレタスなどの葉物野菜を中心に、夏はナス、オクラ、

ミニトマト、とうもろこし、秋には春菊を栽培しています。

Q 就農してみてもの感想は？

A 初めは失敗続きでしたが、自分自身が納得出来るレベルの野菜を作れた時はうれしかったです。また、お客様から「おいしかった」と言われると、とてもうれしいですし、「更に良いものを作ろう」と強く思います。

Q 農業の大変なところは？

A 一番は天候に左右されることです。特に近年の夏の暑さにはいろいろと悩まされています。作付する品種を変えたり、資材で日差しをカバーしたり、試行錯誤しながら農業仲間と情報を共有しつつ、がんばっています。



Q 今後の目標は？

A 野菜の品質向上です。そのためにも、無駄なく農地を活用し、年間を通して効率良く野菜を作っていきたいです。

(聞き手：編集委員 今野 勇一)

法人紹介

農事組合法人 六郷南部実践組合

農事組合法人 六郷南部実践組合を紹介します。

当組合は六郷南部地区に平成27年1月に設立し、現在、板橋吉光さんを3代目代表として、構成員5名(うち女性1名)社員4名で組織されています。



63haの水田で稲作37ha(うち乾田直播栽培27ha)、転作大豆16haを耕作し、水田活用として田10haと畑4haの計14haで枝豆も作付けしています。

また、もともとレタスなどの畑作も盛んだったため、春と秋収穫の玉レタスとリーフレタスの洋菜類を90aで周年、冬は1haでちぢみ雪菜を栽培しており、これらの野菜はすべてJA全農に出荷しています。年間を通して、水稲から野菜まで幅広く切れ目のない営農をしています。

春は、レタス類の出荷のピークと、水稲移植栽培の作業が重なり、とても忙しい時期でしたが、これからは負担の少ない乾田直播栽培を増やし、効率化・省力化を進めることで、春の農作業をよりスムーズに行えるようにしたいとのことでした。

(編集委員 遠藤 正彦)

農業委員会事務局

青葉区二日町6-12
MSビル二日町6F
電話：214-4308



編集後記

農作業が本格的に始まり、忙しい時期になりましたが、農作業中の事故には十分にご留意してください。

さて、この度、当編集委員会は、令和6年度の宮城県農業委員会だよりコンクールで最優秀賞を受賞いたしました。これまで、農業委員会だよりに携わっていただいた方々に感謝するとともに、より良い紙面を目指してまいります。

(編集委員会 副委員長 庄子 みゆき)

お知らせ

◆お車で来庁される方へ◆ 本庁舎の建替工事にともない、本庁舎の駐車場は利用できません。勾当台公園地下駐車場又は二日町駐車場をご利用ください。農業委員会では来庁確認の手続きを行うことにより、駐車料金が原則90分まで無料となりますので、**駐車券を必ずお持ちください。**